

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 新日本製鐵(株) 広畑製鐵所

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

〈所スローガン〉

地域から信頼される製鐵所を目指して

〈目標〉

- ・「環境事項ゼロ」の達成
- ・資源循環型社会への貢献

〈重点項目〉

1. 環境関連法、条例、協定等の徹底遵守
2. 環境保全活動の継続的な改善の推進
3. 排水、ばい塵等の環境汚染予防対策の推進
4. 省エネルギー、省資源、リサイクル活動の推進

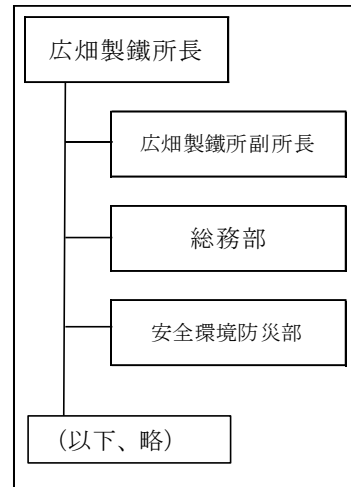
1-2 環境保全活動に関する組織体制

令和元年5月31日

1 公害防止組織法に基づく公害防止組織

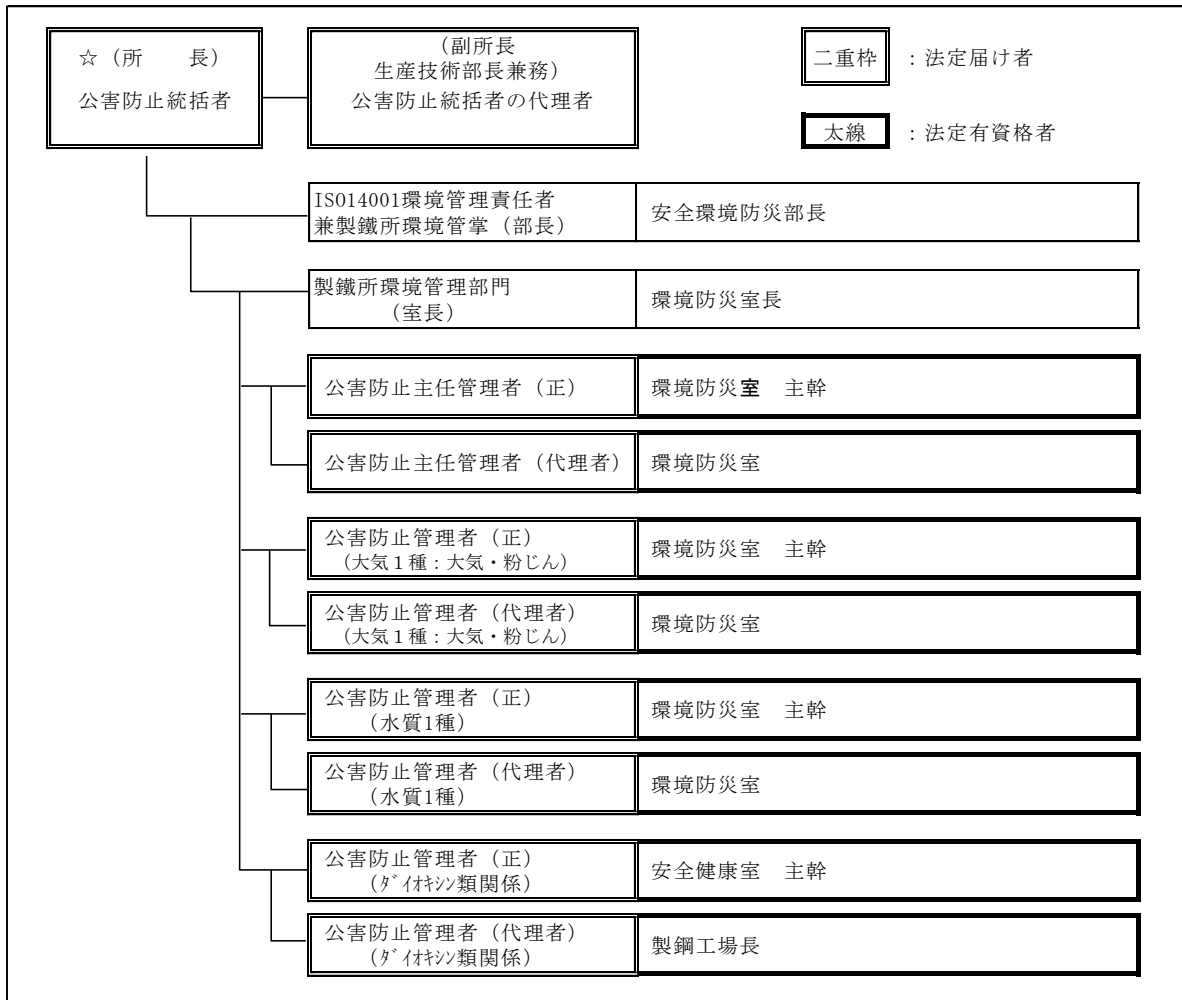
公害防止統括者	職名	広畑製鐵所 所長
	氏名	
公害防止統括者の代理者	職名	副所長 生産技術部長兼務
	氏名	
公害防止主任管理者	職名	環境防災室 主幹
	氏名	
公害防止主任管理者の代理者	職名	環境防災室
	氏名	
公害防止管理者 (大気1種)	職名	環境防災室 主幹
	氏名	
公害防止管理者の代理者 (大気1種)	職名	環境防災室
	氏名	
公害防止管理者 (水質1種)	職名	環境防災室 主幹
	氏名	
公害防止管理者の代理者 (水質1種)	職名	環境防災室
	氏名	
公害防止管理者 (ダ イオキシ ン類関係)	職名	安全健康室 主幹
	氏名	
公害防止管理者の代理者 (ダ イオキシ ン類関係)	職名	製鋼工場長
	氏名	

2 広畑製鐵所組織図 (抜粋)



備考：上記の代わりに、公害防止に関する組織系統図をもって報告することができる。

3 環境管理組織の体系



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
大気環境 保全活動	(1) 粉塵対策の継続実施 ・ H30 年度対策として以下を実施 ① 製鋼地区 ア) 製鋼コンベア発塵対策 : H30 年 6 月 イ) 原料保管倉庫密閉化 : H30 年 6 月 ② DPR 地区 ア) DPR 地区散水装置増設 : 6 月 イ) 高所ミスト散水の 24 時間対応 : 継続 ③ 石炭ヤード 防塵コーティング : 継続 ④ 道路清掃 24 時間対応 : 継続	・ H30 年度までの対策の継続効果発揮 ・ H31 年度粉塵対策の実行 ① 製鋼地区防塵対策の継続実施 ② DPR 地区落粉対策 ③ 散水強化対策
	・ 道路散水、ヤード散水、高所ミスト散水の強化実施 ・ 発塵抑制対策設備の維持管理強化	継続実施
	(2) 大気汚染防止法に基づくばい煙監視の体制強化 (構内他企業含む)	主要他社の環境監査実施
排水管理 強化活動	(1) 毎月の各工場模擬排水停止訓練の実施	訓練は構内主要他社参加
	(2) 岸壁・護岸定期パトロールの実施	継続実施
	(3) 排水監視機器の維持管理継続中	継続実施
	(4) 構内他社の管理指導 ・ 環境管理部門による主要 15 社の環境監査実施	継続実施
臭気・騒 音対策	(1) 臭気対策の推進 ・ 構内他社も含め臭気懸念箇所の調査と対策の推進	継続推進
	(2) 騒音対策の企画 ・ 騒音発生源の調査と抑制対策の企画及び対策の推進	継続推進
廃棄物適 正処理化	(1) 構外委託処理物の構内処理化拡大	継続推進
	(2) 電子マニフェスト化の推進 (マニフェストの完全電子化)	継続推進
	(3) スラッグの利用用途拡大の企画推進	継続推進
省エネ ギー活動	(1) 省エネ対策工事の着実な実行	実行中
	(2) 身近な省エネ活動の推進	継続中
ISO14001	(1) 内部監査の実施 ・ H30 年 10 月～H30 年 12 月、全部門実施完了	R1 年 10 月から全部門実施予定
	(2) 本社環境部による環境監査 ・ H30 年 9 月 19 日～20 日完了	R1 年 9 月本社による定期監査予定
	(3) 外部審査会社 (JICQA) による更新審査完了 ・ H31 年 2 月 19～20 日完了	R1 年 12 月更新審査予定
環境教育	(1) 環境リスク教育 (6 月環境月間) に実施。	継続実施
	(2) 所内教育計画に基づく実施 ・ 年代別、階層別教育計画に基づき実施	継続実施
地域社会 活動	(1) 工場見学受入 (受入者総数: 約 3400 名)	継続実施
	(2) 製鐵所周辺清掃活動: 正門通 (3 回/年)。 電磁門通 (4 回/年) 他	継続実施
	(3) 姫路環境フェスティバル参画: 9 月 23 日	
	(4) 緑の町スポーツ大会: 8 月 19 日	
緑化対策	(1) 既存緑化の維持管理強化	継続実施
グリーン 購入	(1) グリーン購入推進 ・ コピー紙、トイレット紙等の再生紙品の購入を推進	継続実施